



日本クリスチャン・アシラム連盟

# 日本アシラム

アシラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリストの新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕

〒181-0011 東京都三鷹市井口3-15-6 池の上キリスト教会内 日本クリスチャン・アシラム連盟 振替口座 東京 00100-1-4558

## 神の恵みを想う



エフエソの信徒への手紙2章1〜9節  
日本基督教団牧師 安藤 脩

アシラムの創始者スタンレー・ジョーンズ師は、アシラムの目的を「私たちを真のキリスト者に造り変えること。キリストの真の弟子にすること」だと言っています。では「キリストの真の弟子・クリスチャンでどんな人？」と尋ねられたら、あなたは何と答えますか。「聖書をよく読み、研究し、律法を良く守り、祈りと礼拝を欠かすことのない人」です。確かにその通りですね。でもそれだけなら、フアリサイ人や律法学者も、私たち以上に実行していたのではないのでしょうか。

パウロは生涯、自分が罪人のかしらであったことを忘れませんでした。「わたしは、その罪人の中で最たる者です。」(1テモテ1・15) この自分の罪人であったことを忘れないことが大事なのです。これが謙遜の秘訣であり、クリスチャンとして成長する鍵です。

今日の聖書の個所でパウロは「あなたがたは、以前は自分の過ちと罪のために死んでいたのです。」(2・1)と裁きを宣告しています。しかしそのような時も、他者への批判ではなく、「わたしたちも皆、こういう者たちの中にいて、以前は肉の欲望の赴くままに生活し、肉や心の欲するままに行動していたのであり、ほかの人々と同じように、生まれながら神の怒りを受けなければならない者でした。」(2・3)と、自分をも神の裁きを受けなければ

ばならない人々の中に加えて語っているのです。

中学、高校時代の私は自他ともに認める模範生でした。そのためか、知らずして、いつの間にか他者を心の中で裁いていることが多くありました。まことに高慢な者であることに気付いていなかったのです。神様の目から見るとすれば過ちと欠けだらけの罪人であることを知らなかったからです。しかし、大学に入学して聖書を読む機会が与えられました。そして自分の高慢さや罪を示されました。もちろん、そのような自分を変えようと精神修養もしましたし、努力もしました。でも、本性の変わらない自分をここかしこに見出し失望しました。決定的なことは、今までに犯した罪はどのような善行を積んでも償えないということです。パウロが言う通り、救いは「自分の力によるのではなく、行いによるのでもありません。」(2・8・9)ということを感じました。

「あなたがたの救われたのは恵みによるのです。」(2・5)との御言葉は確かです。何故、イエス様が十字架にかけられて死んだのかを知った時、神の真の愛を知りました。そしてイエス様の復活を信じたとき、「キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました。」(2・6)という御言葉が私のものとなりました。なんと、恵みでしょう。どんなに足らなくても、私は既に、神に愛され、愛するキリスト・イエスと共に天の王座を受けている。この確信があるからこそ、いくらでもへりくだれるのです。主よ、肉欲が頭をもたげる時、あなたの恵を想い起こすアシラムの場があることを感謝いたします。

想

霊

## 「必ずその報いを受ける」

「わたしの弟子であると言う理由で、この小さな者の一人に、冷たい水一杯でも飲ませてくれる人は、必ずその報いを受ける。」

(マタイ福音書10・42)

マタイ福音書十章は、主イエスが宣教のために十二弟子を遣わしたことを語ったところから始まります。弟子たちは神の国がすぐそこに来ている、と人々に伝えるために遣わされました。それは狼の群れに羊を送りこむようなものだ、と言われるような危険な業なのだと言われています。又、宣教するものは身軽でなければならぬ、財布にお金も持たず、履物も下着も持つなと勧められています。それは、必要なものは神さまが与えてくださるからだ、という事です。

それと同時に主イエスは弟子を遣わすに当たって、汚れがれ霊に対する権能をお授けになった(一節)とありますように宣教の言葉と共にその言葉に伴う神の力を与えたと言う事です。

当時の世界にイエス・キリストの福音のメッセージを語ると言う事が、如何に勇気を要



日本キリスト教団

浦和別所教会 協力牧師

牧師 西海満希子

し緊張を強いた事であったかを思いますと同時に、今日においても、それは私達たちへのメッセージでもあります。

神なき世界、それは今日、人間の知識への信頼、科学技術への期待、そして世界は人間中心の文化と、国々がそれぞれの利益追求に躍起となっている世界です。

神が世界を創造された、と宣言し、人間は罪深い存在であること、その罪を赦されるために、イエス・キリストの十字架を信じることを勧めると言う事は、狼の中に羊が遣わされるような異次元の世界を持ちこむような業なのです。

そのような世界に宣教の使命を帯びて遣わされる時、私たちに勇気を与えるのは、神の霊によって語ること(二十節)であり、又、全ての必要は神が備えてくださると言う信仰ではないでしょうか。

私は伝道者となるように召された時、全ての必要は神さまが備えてくださると言う信仰の訓練を自身に課しました。まずは金銭の必要を神さまから与えられると言う事でした。

これはハドソン・テラーが中国伝道に赴くとき、英国での医師としての訓練をしていた時、自分に課した訓練のことを読んでいた時、私は当時大学三年生でした。家からの仕送りは必用な時のみで、アルバイトと奨学金でほとんどを賄っていました。そんなある日、ついに必要に迫られて家に要求することをやめ、祈って神さまに委ねることにしたので、そしてアルバイト先の家庭教師の家に小学生を教えるために出かけました。すると子どもが父親が「先生、帰りに会社に寄ってください。出張しますので今月の給料を渡します」と言ったのです。それはいつもの額より多い額でした。ハレルヤ。

それ以来、神さまは生きておられると言う事を事に覚えさせられます。

私達の宣教は、私たちの神様への信頼感の繋がりによってその言葉が受け入れられ信仰へとつながっていきます。信仰とは、イエス・キリストによって罪赦された者が、神の命に生きるものとなり、神の栄光のために働く者となると言う事です。

私たちがイエス・キリストを伝えるとき、私たちが受け入れ、その働きを助ける者には冷水一杯であってもその報いを受けると約束されています。何という神の配慮でしょうか。

J E C A  
自由が丘キリスト教会  
聖書通読クラス



西川政一

私は、救われた頃、み言葉の素晴らしさに触れ、これを読まなければと、きつかけを見つけては、友人知人に聖書を贈ってきました。もう何十冊にもなるかと思えます。けれどもいきなり分厚い聖書をもらっても戸惑いが大きくはないかと、その後はとつきやすい読み物又はみ言葉入りのカレンダーなどに行っています。そんな思いから教会でも、皆で聖書を読んだらどうかと思っていました。そして二〇〇〇年六月から月一回の聖書通読クラスが始まりました。教会へ提案してから、半年ほどたっておりましたが、他にも同じようなクラスがあるとのことで、なかなか許可が出せなかったようです。それでも半ば強引に始めてしまい、今は三回目の通読で、あと三年ほどで三回目が完了します。始めて二十年以上になる予定です。当初皆若く、声もかすれず、読むスピードも速く老眼鏡などを必要ともしませんでした。今は、眼鏡はもちろん水で喉を潤し途中で疲れ居眠りが出たりしています。予定の部分を読み終えた後、皆でそれぞれ感想を言い合いその後、来月も元気で集まれるように祈り解散しています。最初からのメンバー

は三人です。途中で召された方も一人おられます。健康で完読したいと祈っています。

J E C A  
自由が丘キリスト教会  
家庭礼拝



西川保子

現在四十代の三人の子どもたちが小学生の時、週一回家庭礼拝を持ち始めました。何年間も家族六人の礼拝は続きましたが、何時どんな理由で大人だけ（今は老人だけ）三人になったか忘れてしまいました。当時子ども達は乗り気でなかったの、なるべく讚美は短い三番くらいのを選んだり、「お父さん、お祈りはなるべく短くね」などと頼んだりしていました。それでもクツションを頭に乘せたり、お祈りを嫌がったりしていました。一人ずつお祈りをしていましたが、大人はどうしても子ども達を躡けようとするような祈りになってしまい、良くなかったと思います。その頃榎本保郎先生の「一日一章」を用いてお祈りました。何十年も過ぎ今は聖歌の長いときは一曲だけ、短い場合は二曲賛美し、主の祈りを捧げるだけになっています。97歳で緑内障、読み書きが大変不自由になります。聞こえが悪くなった母のために、ただそれだけに続けています。あつという間の家庭礼拝の済んだ後、私は聖歌を何曲か口ずさみます。本当に素晴らしい歌ばかりです。これからもたとえ短時間でも続けようと思っています。

第50回城北アシラムの報告

二〇一九年二月十一日、第50回城北アシラムは池の上キリスト教会で開催、70名の参加でした。

石井兄のオリエンテーション、貴村かたる師の開心の時は「ルカによる福音書4章1、30節」から二ードの分かち合いを致しました。分団に別れ、そこでお互いの二ードを分団の皆さんに祈って頂きました。

記念撮影後、食事をしながら各教会、各参加者の紹介がありました。午後は山口紀子師の静聴の時を持ちました。聖書箇所はローマ人の手紙8章18、39節まででした。福音の時の説教は「目標を指して」と題して安藤脩師が担当されました。二回目の祈りの細胞を持ちました。充滿の時は横山義孝師がリードして下さいました。全員から今日頂いた恵の分かち合いを行いました。感謝（川村秀夫記）



### 第23回連盟全国理事会

とき・三月七〜八日  
会場・池の上キリスト教会

出席者 北海道・佐々木雄次(理事)、関東・横山義孝(理事長・地区代表)、有馬歳弘(常任)、安藤脩(書記・常任)、島隆三(総務・常任)、横山勲(理事)、川村秀夫(常任)、関西・脇田眞一(常任)、森哲(理事) 九州・岡山敦彦(副理事長・地区代表)、事務局・石井寛

#### 【二日目】

一、開会礼拝 横山義孝理事長

聖書・コリントⅡ1・18〜22から「インド途上のキリスト」、「神の然り」を用いてスタンレーが目指したアシユラム運動の神髄を語られた。

二、セミナー 司会・佐々木雄次師

I「キリストの形になるまで・山根師とアシラム」  
石井寛主事(資料参照)

II「ペテロ岐部に学ぶ」岡山敦彦師(スライド上映)

エルサレムに行った最初の日本人と言われている。

三、閉会祈祷 島隆三師

#### 【二日目】

一、静聴の時・有馬歳弘師

二、議事・司会 岡山敦彦師

(1)前回の議事録の承認及び会計報告の件

二〇一七年十一月九日の第22回理事会議事録を朗読

質疑応答の後承認。

(2)事務局石井寛主事より会計報告がされ、質疑応答

の後、承認。

三、各地区のアシユラム活動の報告

(1)北海道地区 佐々木雄二師報告(配布資料参照)

二〇一八年十月八日の函館キリスト栄光教会ミニ

シアシユラムの報告 助言者は島隆三師27名参

加

(2)仙台地区 仙台青葉荘教会 島隆三師が赴任後

から現在まで10回開催、継続活動中。

(3)関東地区 石井寛主事が報告(配布資料参照)

第56回関東アシユラムの開催二〇一八年9月17

〜19日 山崎製パン箱根山荘 助言者・西海満

希子師(浦和別所教会協力牧師)20教会、44名

参加。

(4)静岡地区 牧之原キリスト教会の現状

(5)関西地区 脇田眞一師報告二〇一八年9月23〜

24日 母の家ベテルで開催30数名参加 助言者

工藤弘雄師

(6)九州地区 岡山敦彦副理事長が報告二〇一八年

9月18〜19日 第52回九州アシユラムは福岡黙

想の家で開催 助言者は榎本恵師

四、理事改選の件

小島十二師ご召天につき清水潔師(副理事長)が

関西地区代表に変更、脇田眞一師は常任理事に変更。

更。

五、次回常任理事会開催二〇一九年10月11日の予定

六、インド・サツタル訪問旅行計画に関する議案

趣旨・アシユラムセンター(近江)と合同でアシユ

ラム運動発祥の地へ訪問し、現地でアシユラムを

開催、交流を図る。

二〇二〇年三月下旬から

四月上旬の予定、参加人

数は約20名 費用は30万

円程度。

七、第65周年記念として横

山義孝師の自叙伝を再編

集し証集として連盟から

出版を検討する。

### アシユラム予告

●第10回仙台アシユラム

とき 6月15日〜16日

会場 仙台青葉荘教会

助言者 島隆三師

●浦和別所教会アシユラム

とき 6月

会場 浦和別所教会

助言者 未定

●第57回関東アシユラム

とき 9月9日〜11日

会場 山崎製パン箱根山荘

●第54回九州アシユラム

とき 9月15日〜16日

会場 福岡黙想の家

助言者 榎本恵師

●函館栄光キリスト教会ミニ

アシユラム

とき 10月14日

会場 函館栄光教会

助言者 未定

＊その他分かり次第お知らせいたします。

#### 編集後記

アシユラム運動創始者・スタンレー・ジョーンズ師が来日、各地においてアシユラムを指導してくださったのち、「日本クリスチャン・アシユラム連盟」が発足しました。高瀬恒徳師、海老沢宣道師を中心に各地において活動が始められ、またそこから榎本保郎師を中心に「アシユラムセンター(近江)」が生まれ、それぞれがアシユラムを継承してきました。ここ数年にあつてこの二つのアシユラムは互いに助言者を送りつつ交流を持つようになりました。これからも言葉と祈りにあつて協力し合うことが進められていることに感謝します。

